

# 【旧石器～古墳時代】

BC10000～709

## 【旧石器時代】

和光市内で旧石器時代の遺構・遺物が確認されている主な遺跡としては、花ノ木遺跡、四ツ木遺跡、午王山遺跡、柿ノ木坂遺跡、城山南遺跡、水久保遺跡、妙蓮寺遺跡、仏ノ木遺跡が挙げられます。

主な遺物として、礫群やナイフ形石器、その他色々な石器の集中ブロックなどが出土しています。また、城山南遺跡からは尖頭器が出土しています。



ナイフ形石器



尖頭器

## 【縄文時代】

和光市内で縄文時代の遺構・遺物が確認されている主な遺跡としては、四ツ木遺跡、柿ノ木坂遺跡、吹上遺跡、吹上貝塚、市場峠・市場上遺跡、城山南遺跡、白子宿上遺跡、丸山台遺跡、水久保遺跡、義名山遺跡、越後山遺跡、西越後山遺跡、庚塚遺跡、妙蓮寺遺跡が挙げられます。

縄文時代早期では、城山南遺跡、白子宿上遺跡で燃糸文土器が出土し、市場峠・市場上遺跡、城山南遺跡、白子宿上遺跡、西越後山遺跡では、炉穴と貝殻条痕文系土器が検出されています。

縄文時代前期では、白子宿上遺跡で花積下層式土器と住居跡が検出され、吹上遺跡では黒浜式期の住居内貝層が検出されています。市場峠・市場上遺跡では、諸磯式期の集落と貝塚が確認されています。

縄文時代中期では、勝坂から加曾利E1式という時期の異なる土器が貝層とともに住居内から出土したことにより、「吹上パターン」として提唱され、学史的にも知られた吹上貝塚のほか、水久保遺跡や城山遺跡では住居跡、庚塚遺跡や妙蓮寺遺跡からは勝坂から加曾利E式期の集落が検出されています。また、越後山遺跡からは硬玉（ヒスイ）製の大珠が土坑から出土しています。



吹上遺跡



吹上パターン

# 【旧石器～古墳時代】

BC10000～709

縄文時代後・晩期では、義名山遺跡から称名寺式期を主とする集落が確認され、柿ノ木坂遺跡、丸山台遺跡、白子宿上遺跡は称名寺から堀之内式期の集落であることがわかっています。四ツ木遺跡、吹上遺跡では検出例が少ない加曾利Bから安行式期の集落が見つかっています。



硬玉（ヒスイ）製の大珠



縄文土器

## 【弥生時代・古墳時代】

弥生時代から古墳時代前期にかけての主な遺跡としては、花ノ木遺跡、峯前遺跡、四ツ木遺跡、午王山遺跡、吹上遺跡、妙典寺遺跡、市場峠・市場上遺跡、白子宿上遺跡、城山遺跡、榎堂遺跡、越之上遺跡が挙げられます。

弥生時代後期になると環濠集落が確認されるようになります。花ノ木遺跡、午王山遺跡、吹上遺跡は環濠集落として知られています。これらの遺跡では弥生時代中期末から後期にかけて、他地域の影響を受けている土器が見られます。



菊川式土器



午王山遺跡